

平成28年12月8日

調布市剣道連盟加盟団体会長・責任者 殿

調布市剣道連盟
会長 長田克巳

調布剣連 1級及び2～5級審査会のご案内

標記のことにつきまして、平成28年度後期審査会を下記のとおり実施いたします。団体所属の皆さまへご周知願います。別紙審査会要項を確認の上、受審希望者を取りまとめてお申し込みください。

記

1. 実施日時 平成29年2月5日(日) 受付 午前8:40 受付
午前9:00 開始予定
2. 実施場所 西調布体育館
3. 申込方法 平成29年1月15日(日) 13:00～14:00
西調布体育館ミーティングルーム

4. その他

- 1) 受審資格、審査料等については別紙をご参照ください。

調布市剣道連盟の級審査を受けるには調布剣連加盟団体の会員であることが条件となります

- 2) 当日の申し込みは不可とします。
(生年月日順での審査がルールであり当日受付は受審順序の変更等で混乱するため)

- 3) 審査結果の公表について。
審査結果については、調布市剣道連盟のホームページに「1級合格者」及び「2～5級合格者」として掲載しますので、ご確認ください。(個人情報の掲載に不都合がある場合は事前にご相談ください)

- 4) 会場の西調布体育館は8:30以降でなければ入館できません。スタッフ集合が8:30であり、会場設営が終了するまでは受審者への対応ができませんので、8:30より前に会場へ到着しないよう受審者へ必ずお伝えください。

スポーツ振興課から早朝出勤要請には対応できないと言われております。管理人が8:30に出勤しますので8:30以前に到着しないよう各団体での周知徹底をお願いします。

以上

1 級審査会要項

- (1) 受審資格 小学6年生以上
- (2) 審査料 本年度剣連年会費を納入しているか否かによって下記のようになります。

	審査料	剣連年会費	合計
剣連年会費を納入している方	1,500	—	1,500円
未納の方 (小学生)	1,500	2,000	3,500円
未納の方 (中学生以上)	1,500	4,000	5,500円

※審査料には事務手数料が含まれています

※剣連会員名簿（対象者抜粋）をお送りします。名簿に名前のない方は年会費の納入が必要になります。別添「追加登録用会員名簿」に記入のうえ年会費を納めてください。

申し込み後（会員登録後）前日までに受審を取り下げた場合は、審査料は返金いたしますが、年会費は返金することができませんのでご注意ください。

- (3) 登録料 580円
(合格者のみ当日徴収します。つり銭のないようご準備ください)
- (4) 審査内容 ◎切り返し：正面→左右面前進4本・後退5本（2回）→正面（残心）
正面を打突後はしっかりと腕を伸ばし、体当たりを行わないものとする
切り返しの後、立ち会いの合図により、試合の要領で稽古を行う
◎審査は5人1組とし、受験番号順に組を作って行う。
◎実技審査合格者は、木刀による剣道基本技稽古法9本の審査を行う。
- (5) 審査員 審査員は、五段以上5名をもって構成する。
(審査員は剣連会長より委嘱する)
- (6) その他 申し込みについては、所定の申込用紙に必要事項を記入し、年会費（今年度未納者のみ）、審査料を添えて、各団体でとりまとめて代表者が指定の期日に申し込んでいただきますようご協力をお願い申し上げます。

【 1 級審査に臨む皆さんへ ～各団体で取り組んでいただきたいこと～ 】

木刀基本技稽古法の審査では、基本技1～9本目までを行い、当日その場で元立ちと掛かり手のどちらを行うかが伝えられます。両方ともできるように審査会までに十分な準備をお願いいたします。（間違えた時は、手を上げてやり直すように指示して下さい）

初～三段の審査が大変厳しくなっており、受審させてもよいレベルかを各団体の指導者がしっかりと見極めていく必要性を感じます。その前段階となる1級審査もこれに準じた取り扱いで実施することになります。しっかりしたご指導のもと、1級を受審させていただけるようお願いいたします。

面紐は、結び目から40センチ以内にする事。

一級審査申込用紙

- 注意 1. 必要なだけコピーして使用する。
 2. キリトリ線より切り、すべて同じ大きさにして下さい。



(一級)

登録番号 _____

氏名			ふりがな
男 女			
. .	年月日	生年月日	
		満年齢	
〒		本人現住所	
		電話	
第()学年		学校名	学年名

一級を受審したので受審料 一、五〇〇円を添えて申し込みます。

※必ず本人が記入する。

キリトリせん

団体名

(一級)

登録番号 _____

氏名			ふりがな
男 女			
. .	年月日	生年月日	
		満年齢	
〒		本人現住所	
		電話	
第()学年		学校名	学年名

一級を受審したので受審料 一、五〇〇円を添えて申し込みます。

※必ず本人が記入する。

キリトリせん

団体名

(一級)

登録番号 _____

氏名			ふりがな
男 女			
. .	年月日	生年月日	
		満年齢	
〒		本人現住所	
		電話	
第()学年		学校名	学年名

一級を受審したので受審料 一、五〇〇円を添えて申し込みます。

※必ず本人が記入する。

キリトリせん

団体名

2～5級審査会要項

- (1) 審査料 本年度剣連年会費を納入しているか否かによって下記ようになります。

	審査料	剣連年会費	合計
剣連年会費を納入している方	1,500	—	1,500円
未納の方 (小学生)	1,500	2,000	3,500円
未納の方 (中学生以上)	1,500	4,000	5,500円

※審査料には事務手数料が含まれています

※剣連会員名簿(対象者抜粋)をお送りします。名簿に名前のない方は年会費の納入が必要になります。別添「追加登録用会員名簿」に記入のうえ年会費を納めてください。

申し込み後(会員登録後)前日までに受審を取り下げた場合は、審査料は返金いたしますが、年会費は返金することができませんのでご注意ください。

- (2) 審査内容

2級 ◎切り返し：正面→左右面前進4本・後退5本(2回)→正面(残心)
正面を打突後はしっかりと腕を伸ばし、体当たりを行わないものとする
切り返しの後、立ち会いの合図により、試合の要領で稽古を行う
◎審査は5人1組とし、受験番号順に組を作り、行う。
◎実技審査合格者は、木刀による剣道基本技稽古法1～6本の審査を行う。

3級 ◎切り返し：正面→左右面前進4本・後退5本(2回)→正面(残心)
正面を打突後はしっかりと腕を伸ばし、体当たりを行わないものとする
切り返しの後、立ち会いの合図により、試合の要領で稽古を行う
◎審査は5人1組とし、受験番号順に組を作り、行う。
◎実技審査合格者は、木刀による剣道基本技稽古法1～4本の審査を行う。

4・5級 ◎切り返し：正面→左右面前進4本・後退5本(2回)→正面(残心)
正面を打突後はしっかりと腕を伸ばし、体当たりを行わないものとする
切り返しの後、立ち会いの合図により、試合の要領で稽古を行う
◎審査は5人1組とし、受験番号順に組を作り、行う。

- (3) 審査員 当連盟五段以上、3名の審査員をもって構成する。(審査員は会長より委嘱)

- (4) その他
- ・現級は、各団体で認定されたものを現級とする。
 - ・他府県からの転入者については、各団体で現級を確認のうえ申し込むこと
 - ・現級及び受審希望級を明記のこと。

申し込みについては、所定の申込用紙に必要事項を記入し、年会費(今年度未納者のみ)、審査料を添えて、各団体でとりまとめて代表者が指定の期日に申し込んでいただきますようご協力をお願い申し上げます。

2～3級には木刀基本技稽古法の審査があり、当日その場で元立ちと掛かり手のどちらを行うかが伝えられます(両方行う場合もあります)。両方ともできるように審査会までに十分な準備をお願いいたします。

【参考資料】 2～5級審査（実科審査）の評価の視点

級審査の際に、審査員の先生方がどのような点に注意して審査しているかを以下に紹介します。
所属団体での少年指導にお役立てください。

平成21年12月15日作成

平成24年12月2日改訂

項番	着目点	評価の視点
1	着 装	<ul style="list-style-type: none"> ・面紐の長さ(40センチ) ・小手紐の垂れ下がり ・剣道着の背中のふくらみ、しわ ・袴の腰板の位置 ・防具の全般的な着装状況
2	立合前後の所作	<ul style="list-style-type: none"> ・立礼(相気、竹刀の持ち方)・・・相手への感謝の気持ちを持って行う ・帯刀、提げ刀の所作 ・三步進む時のすり足 ・蹲踞の姿勢 ・竹刀の抜き方、納め方 ・五歩後退する時のすり足、五歩目の右足の引き付け
3	構 え	<ul style="list-style-type: none"> ・足の構え(左右が平行か、前後左右の間隔は適切か) ・左手の位置(臍前一握り) ・剣先の高さ(喉の高さ) ・右手、肩に余分な力が入っていないか ・竹刀の握り方(横握りにっていないか)
4	気 合 い	<ul style="list-style-type: none"> ・腹の底から声を出しているか (声を出すことは技術の優劣には関係なく誰でもできるはず) ・特に立合い最初の気合いは思い切って声を出す (審査員に、よく見てみようという気にさせる)
5	切り返し	<ul style="list-style-type: none"> ・面打ちは大きく伸びやかに一拍子で打ち、打突後は体当たりをせず腕をしっかりと伸ばす ・竹刀を打つのではなく正しく左右の面の位置を打つ ・左右面は上段の位置から回さずに打突する ・切り返し時の送り足、打突と足の運びの一致 ・切り返しを受けるときの歩み足、竹刀の持ち方
6	立合時の打突	<ul style="list-style-type: none"> ・腰の引けた手先の技ではなく、思い切った捨て身の技を出す ・中途半端の打突で終わらず、打ち切った技を出す ・打突後の残心

()級審査申込書

※2～5級審査用の申込用紙です。この用紙をコピーし、各級ごとに申込用紙を分けてご記入願います。

所属団体名

氏名	性別	生年月日	学年	住所・電話	現級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級

()級審査申込書

氏名	性別	生年月日	学年	住所・電話	現級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級
				(電話)	級

審査料 1,500円 × ()名 = ()円